

| | |
|-----------------------|---|
| 公益社団法人 日本青年会議所 | |
| 関東地区 茨城ブロック協議会 | |
| ブロック大会運営委員会 委員長 加藤 和則 | |
| 現状分析 | <p>私たちの住暮らす地域は、人口減少や急速な少子高齢化に伴う若者世代の減少により茨城ブロック協議会の会員も減少傾向にあり例年、ブロック大会や記念事業の開催において会員や地域市民の参加者の動員が難しくなっている状況です。明るい豊かな地域、茨城の創造を目指し地域市民の参画意識や主体性の向上を図れる、我々の最大の運動発信の場として新たな価値が創出され、地域の魅力を広める市民参加型のブロック大会の開催が必要です。</p> |
| 目指すべき状態 | <p>■会員の運動意識を向上させるとともに地域市民の主体性が向上された状態。</p> <p>■主催益、主管益、地域益、参加者益を創出し、会員が自らの地域に対する想いを深め新たな魅力を発信できる状態。</p> <p>■第51回茨城ブロック大会主管LOMが主管予定LOMの茨城ブロックの事業に対する考えブロック大会を主管する想いを確認したうえで決定された状態。</p> <p>■地域市民に対する茨城ブロック協議会の認知度が向上し入会者が増加し、会員の拡大意識が向上しブロック協議会が1,000名体制になっている状態。</p> |
| 連携概要 | <p>■地域市民参加型の茨城ブロック大会牛久大会の開催</p> <p>まちの活性化のために、地域市民や行政機関と共にまちの発展に向けた取り組みができる大会を開催し、主催益（ブロック協議会の運動発信）、主管益（牛久青年会議所の運動発信と地域の関係諸団体との連携強化）、地域益（開催地域の魅力や情報発信）、参加者益（会員や地域市民の資質向上）を創出し、会員の運動意識を向上させるとともに地域市民の主体性を向上し、地域の方々とのつながりのある事業を開催し、実りある機会を提供します。</p> <p>■第51回茨城ブロック大会主管青年会議所の推薦</p> <p>確実な事業検証と引継をし、ブロック大会開催地LOMの推薦をし、次のブロック大会へつないでいきます。</p> <p>■茨城コンファレンスの開催</p> <p>会員や地域市民が共に学び成長するために、運動意識の向上が図れる茨城コンファレンスを開催し、会員同士や地域との信頼を築き一致団結する場とします。そして、LOMと地域の強固な連携を生み出すために、ブロック大会開催地LOM並びに開催地域と協力し運動展開することで、地域市民の主体性の向上を図ります。</p> <p>■会員拡大の支援</p> <p>ブロック大会を通して参画意識の向上を図りそこから拡大意識の向上へとつなげていきます。</p> |
| S D G s | 4・11・14・15・17 |
| 政策手法 | <p>■地域市民参加型の茨城ブロック大会牛久大会の開催</p> <p>開催地LOMである牛久青年会議所や開催地域の関係団体と協力し様々な社会問題に対し自ら行動できるようになるため、会員の運動意識を向上させるとともに地域市民の主体性を向上し、地域の方々とのつながりのある事業を開催することで実りある機会の提供を実現します。そして会員の運動意識向上を図るために、茨城ブロック協議会の歴史を学び大会の開催意義を共有します。</p> <p>■第51回茨城ブロック大会主管青年会議所の推薦</p> <p>第51回茨城ブロック大会主幹予定LOMの調査を行いブロック事業に対するLOMの考え方やブロック大会を主管する想いを確認し、51回茨城ブロック大会主管LOMの決定をします。</p> <p>■茨城コンファレンスの開催</p> <p>茨城コンファレンスとして茨城ブロック協議会の運動発信を行うことでイベント的な事業だけでなく会員や一般市民に学びとなる場を提供しより多くの会員一人ひとりや地域市民に参加して頂き主体性の向上や運動意識の向上を図ります。</p> <p>■会員拡大の支援</p> <p>ブロック大会を通して地域市民への青年会議所の認知度向上と会員の参画意識の向上を図りそこから拡大意識の向上へとつなげていきます。</p> |
| パートナー | <p>茨城県（後援）、牛久市（会場提供、協働による協力）</p> <p>一般社団法人牛久青年会議所（第49回茨城ブロック大会開催地LOMとしての協力）</p> <p>組織改革推進会議、グローバル人材育成委員会、政治・防災意識向上委員会</p> <p>SDGs社会実現委員会、JCブランド確立委員会</p> |